

○新丸山ダム周辺振興ビジョンの要点は、2019（平成31）年度に周辺地域（瑞浪市・恵那市・八百津町・御嵩町）と新丸山ダム事業者・管理者が主体となり、水源地域協議会やワーキングでの意見交換・検討を行い作成。

年月日	協議会・幹事会等	内容
平成29年 8月25日	第1回協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会設立</li> <li>市長町長の構想や意見の確認</li> </ul>
平成29年10月31日	幹事会、WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダムツーリズムについて</li> </ul>
平成29年11月29日	WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行会社向け視察会開催の提案</li> </ul>
平成30年 1月26日	WG（事務所）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツーリズム誘致に向けた旅行会社への視察会開催</li> </ul>
平成30年 3月 5日	WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行会社向け視察会開催状況の報告</li> <li>展望台WG候補地の抽出</li> </ul>
平成30年 3月23日～ 4月27日	事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>転流工「記念石」スタンプラリー第1弾</li> </ul>
平成30年 4月中旬頃	WG（事務所）	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行会社へのツアー企画予定の確認（電話聞き取り）</li> </ul>
平成30年 5月 1日	WG（事務所）	<ul style="list-style-type: none"> <li>JAF・NEXCOへのツーリズム企画条件等の聞き取り</li> </ul>
平成30年 9月 3日	WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>JAF・NEXCOからの聞き取り結果の共有</li> <li>展望台候補地と課題の確認</li> </ul>
平成30年 9月14 日～10月 5日	事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>転流工「記念石」スタンプラリー第2弾</li> </ul>
平成30年11月21日	第2回協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取組の報告</li> <li>今後の検討の方向性、進め方の確認</li> </ul>
平成31年 2月 8日～ 3月 8日	事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>転流工「記念石」スタンプラリー第3弾</li> </ul>
令和元年 7月25日	WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>新丸山ダム水源地域の観光の現状・課題の共有</li> <li>新丸山ダム水源地域振興ビジョン（案）の策定に向けて</li> </ul>
令和元年 9月20日～9月30日	事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>新丸山ダム「見守りコンクリート」スタンプラリー</li> </ul>
令和元年 11月29日	WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>新丸山ダム水源地域振興ビジョン（要点）に係る意見交換</li> <li>モニターツアーの実施方針の確認</li> </ul>
令和2年 2月14日	WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>新丸山ダム水源地域振興ビジョン（要点）の確認</li> <li>今後の検討の進め方の確認</li> </ul>

## ■ 地域振興の実現に向けた方向性

### ① 水源地域の魅力づくり

- \* 新丸山ダムの水源地域は、木曾川をはじめとする豊かな自然景観、杉原千畝や中山道の宿場町などの貴重な歴史・文化といった、資源を有している。
- \* 地域振興を実現するためには、大切に継承されてきたこれらの資源に誇りを持ち、**地域ならではの魅力として磨き上げていく**ことが求められる。

### ② 地域が一丸となった取組

- \* 2市2町には、木曾川や中山道の宿場町、五平餅など、共通する歴史・文化、資源があり、新丸山ダムをはじめとする木曾川流域のインフラも地域内の共通資源の一つ。
- \* これらの共通する**資源を2市2町が共有し、一丸となって活用**していくことで、水源地域の新たな魅力創出につながることを期待。

### ③ 地域内の交流促進

- \* 人口減少や少子高齢化が進展する中で、地域を持続させていくためには、交流人口の獲得、地域内の交流促進が求められる。
- \* そのためには、各地域の強み・弱みを相互に理解し、補い合いながら、木曾川を背景とする**2市2町を一つの地域と捉え、地域が一丸となり魅力を拡大**していくことが大切。

## ■ ビジョンのコンセプト（素案）

**美しい自然、大切に継承されてきた歴史・文化、人を結ぶ、  
新丸山ダム水源地域の豊かな地域づくり**

～ 新丸山ダムがつなく、水源地域2市2町の交流・活性化 ～

## 新丸山ダム水源地域協議会のこれまでの検討②

○丸山ダム・新丸山ダムを活用した水源地域の振興および活性化を実現するための具体的な取組施策（素案）を、「誘客促進」、「受入環境の充実」、「持続的な地域振興」の3つの視点で検討。

視 点	具体的な取組施策（素案）
誘客促進を図る 取組施策	(1) ダムおよび周辺観光地を活用した観光モデルルートの構築
	(2) 水源地域が一体となった効果的な情報発信
	(3) ダムの魅力を伝えるツールの整備・活用
	(4) ダムツーリズムとしての魅力の創出
受入環境の充実を 図る取組施策	(5) 水源地域全体の受入基盤の構築
	(6) ダムの魅力を伝える展示室の整備・活用
	(7) 学びの場としての機能の強化
	(8) 安全性の確保
持続的な地域振興を 実現する取組施策	(9) 水源地域の連携による地域振興の取組推進
	(10) インバウンド対応の強化
	(11) 継続的な管理運営体制の構築

## 視点1 : 誘客促進を図る取組施策

### (3) ダムの魅力を伝えるツールの整備・活用

#### ① バリエーションのあるダムカードの発行

\* 新丸山ダムの工事各段階におけるダムカードの作成 (収集目的の再訪を喚起)

#### ② 新丸山ダムの魅力を発信するためのツールの作成

\* ダムの役割、工法等を発信するパンフレットや子供向けの紙芝居、PR動画等の作成

\* 新丸山ダムの工事過程、季節ごとの地域の魅力等の継続的な発信

#### ③ VRなどの最新技術を活用した、体感型プログラムの構築

\* 工事の各段階 (いつ、どのような姿が見られるか)、完成イメージ等をイメージを視覚的に伝え、見学者の満足度を高めるツールの制作、プログラムの構築を図る

連携  
内容

・ 情報発信ツールの活用、VR等を用いた体感型プログラムの紹介 (教育旅行) 等

### 【取組イメージ】

#### ① バリエーションのあるダムカードの発行

##### ■ レトロカードの発行

● 丸山ダムの工事中の写真をカードにした「丸山ダムレトロカード」を発行。  
堤体打設 (3アングル)、ゲート部竣工、竣工式の全5種類を作成。

● 丸山ダムレトロカード等を参加景品とするスタンプラリーを開催。

⇒ 予定では約1カ月の開催を予定していたスタンプラリーは、好評につき、わずか10日で終了。

⇒ レトロカードは2等 (5種類セット)、3等 (5種類のうち1枚) の景品として配布していたが、レトロカードを目当てとする参加者が多く、県外からも多数の参加があった。

出典：新丸山ダム工事事務所HP



▲丸山ダムレトロ  
カード

# (参考) 具体的な取組施策 (素案) の内容

## 【参考】他地域における取組事例

### ① バリエーションのあるダムカードの発行

#### ■ ダムカードを活用した地域活性化 (岩手県西和賀町 他)

- 全国初の「貯砂ダムカード」を発行。

※貯砂ダム…ダムの堆砂を軽減するため、ダム上流に設けた上流からの土砂を貯留するためのダム

- ダムカードの提示による観光施設や飲食店での割引等の優遇措置を実施。
- ダムカードの配布に加え、ダム湖における釣り体験や船での湖上遊覧、湯田ダム産天然クワガタ抽選会など、多彩な「地域連携フェスティバル」を併催。

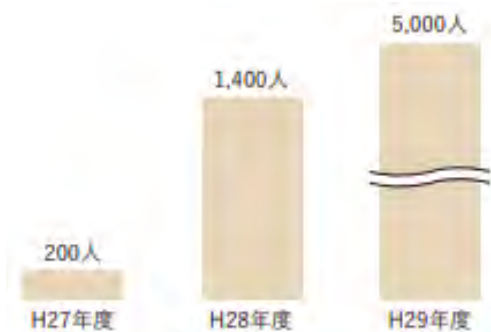
⇒ イベントへの来場者は 2,400人を超え、連携施設の売上は 50%増

⇒ 「貯砂ダムカード」への反響は大きく、イベント期間2日間で約2,200枚以上を配布

⇒ イベント終了後も「貯砂ダムカード」の人気は続き、配布場所である西和賀町観光案内所における案内の機会は約2倍増



▲湯田貯砂ダムカード



▲湯田ダムイベントの来客者数の推移



▲ダムカード特典周知チラシ

出典：観光地域づくり事例集～グッドプラクティス2018～ (観光庁)



# (参考) 具体的な取組施策 (素案) の内容

## 【参考】他地域における取組事例

### ②新丸山ダムの魅力を発信するためのツールの作成

#### ■ダムの工事過程を紹介する絵本の作成 (高知県 横瀬川ダム)

- 横瀬川を管理する中筋川総合開発工事事務所の職員が、自分の子供に仕事内容を伝えたいと、ダムの工事過程を解説する紙芝居を作成。
- 紙芝居が好評だったことから、紙芝居を絵本にして地域の小中学校や図書館等に設置、見学者に配布、ホームページで配信。  
⇒ 絵本を読んでから見学会に来た子どもたちは、ダムの専門用語を口にしながら見学を楽しんでいる。



▲ダムの工事過程を紹介する絵本

#### ■ダム湖の魅力を伝えるPR動画の配信 (神奈川県 宮ヶ瀬ダム)

- 宮ヶ瀬湖と周辺の見所 (湖畔園地、ダムサイトエリア等) やアクティビティ、グルメ等の魅力を紹介するPR動画「自然満喫!!宮ヶ瀬湖」を作成し、神奈川県ホームページにて配信。

出典：神奈川県HP



▲宮ヶ瀬湖PR動画

## 視点1 : 誘客促進を図る取組施策

### (4) ダムツーリズムとしての魅力の創出

#### ① 工事各段階の見所や見せ方の検討、見学コースの設定

\* 工法の技術的先進性を活かした、工事段階の見学内容やスポット等の検討 (特別感の演出)

#### ② ダムの変化を記録するための定点カメラの設置

\* 工事段階の変化を記録する動画の作成。Web等での閲覧、記録映像の作成など

#### ③ ダム湖岸道路の整備による、散策コースの設定

\* 湖岸道路の整備、ダム湖や周辺の自然環境の魅力を活用した季節ごとの散策コースの検討

#### ④ 完成後の魅力ある湖面活用方法の検討・活用に向けたルールづくり

\* 遊覧船運行、カヌー体験、ジェットスキーなど活用検討、湖面の活用ルールの策定

#### ⑤ ダムツーリズムのオリジナル商品、ノベルティグッズ等の開発

\* 新丸山ダムやダムツーリズムをテーマとした、オリジナル商品 (グッズ、お土産品等) の開発

\* 2市2町における取扱・販売方法、ツアー参加者への配布等の活用方法の検討

\* ダムカレーを提供する店舗の拡大 (2市2町の取組への広がり)

連携  
内容

・ 散策コースや完成後の湖面活用に係るアイデア出し、ダムツーリズムの魅力の発信  
・ オリジナル商品やノベルティの開発および展開に向けた検討 等

# (参考) 具体的な取組施策 (素案) の内容

## 【参考】他地域における取組事例

### ① 工事各段階の見所や見せ方の検討、見学コースの設定

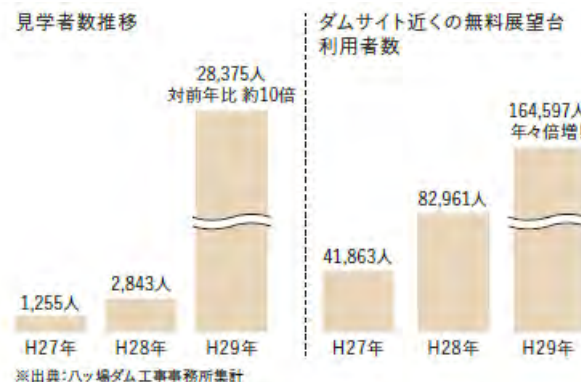
#### ■ 建設中のダム現場見学を活用した地域振興 (群馬県 ハッ場ダム)

- ダム本体工事を間近で見る見学会を、ほぼ年中無休で実施。  
⇒ “今だけ” “ここだけ” “あなただけ” をコンセプトに、日々変わる工事現場の様子を公開したことで、リピーターの獲得につながった。
- ダムの工事の説明に加え、地域の魅力を紹介する「やんばコンシェルジュ」に地域住民を起用し、地域雇用を創出。  
⇒ 地域の若者が自らコンシェルジュを志望する等、郷土愛の育成にもつながった。
- ダムの見学に訪れた人々の周辺地域への周遊を促進するため、ターゲットと季節に合わせた10本の目的別見学プラン「やんばツアーズ」を開催。  
⇒ 集客が落ち込む冬季においても、名物を開発しダム見学とセットにして販売する等の工夫を実施  
⇒ ツアー開始前の2016年度には約2,800人だった見学者が、ツアー開始2年目の2018年度には約55,000人と20倍近く増加した。

※ 2019年10月より、地元団体による有料ダムツアーが開催されることになったため、「やんばツアーズ」は9月末で終了



▲現場見学会の様子



▲取組の効果

出典：観光地域づくり事例集～グッドプラクティス2018～（観光庁）



# (参考) 具体的な取組施策 (素案) の内容

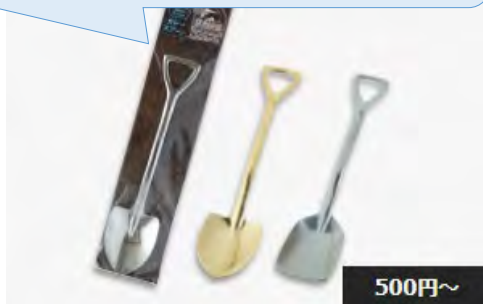
## 【参考】他地域における取組事例

### ⑤ ダムツーリズムのオリジナル商品、ノベルティグッズ等の開発

#### ■ ダムをテーマとした多様な商品の開発 (富山県 黒部ダム)

● ダムをテーマとする様々なオリジナルグッズを開発。地域内の鉄道駅、展望台の売店、ダムレストハウス等で販売。

建設工事に使用するスコップをイメージしたスプーン。「黒部ダム」の刻印入り。ダムカレーとセットで人気。



▲スコップスプーン

500円～

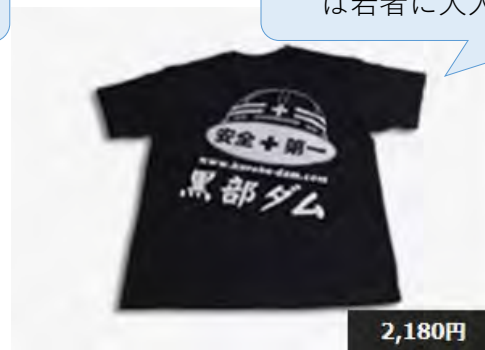
人気の「黒部ダムカレー」をレトルト商品化。



▲黒部ダムカレーレトルト

530円

「安全第一」シリーズは若者に大人気。



▲安全第一 Tシャツ

2,180円

ヘルメット型のパッケージが特徴的。



▲黒部ダムチョコランチ

700円

黒部トンネルで採掘された石が使われている。受験や就職など、難関突破のお守りとして人気。



▲難関突破 根付

450円

黒部湖 (ダム湖) を航行する遊覧船ガルベのオリジナルチョコQ。



▲遊覧船ガルベチョコQ

920円

## 視点2：受入環境の充実を図る取組施策

### (5) 水源地域全体の受入基盤の構築

- ① 団体客に対応した、休憩施設や駐車施設、受入店舗の拡充
    - \* バスツアー等の団体旅行に対応可能な2市2町内の受入体制の充実  
(道の駅等の休憩施設や駐車施設、飲食店等の充実、施設側との調整など)
  - ② 水源地域内の周遊を支える「道路ネットワーク」の継続的な整備
    - \* 国道418号や県道大西瑞浪線(五月橋)等の付替道路の整備
    - \* 水源地域内の道路ネットワークの強化(新規整備、道路の機能強化(多車線化など))
  - ③ 水源地域内の案内標識・案内サインの点検・見直し
    - \* 水源地域内の周遊促進を図る、案内標識および案内サインの点検・更新
    - \* 多言語対応を含めた、案内標記および案内サインの充実、掲載内容の統一
  - ④ 工事の各段階に応じた「展望箇所」の検討・整備
    - \* 工事各段階の見所、整備状況に応じた新丸山ダムの展望箇所の検討・整備
    - \* 大型バスの駐車場、トイレ等の休憩施設の整備(完成後の活用、管理方法の検討)
- 連携内容

  - ・ 団体、FITなど多様な観光客の受入を実現する受入体制の強化  
(ダムおよび2市2町が連携した、道路、駐車・休憩施設、案内機能等の強化・充実)
  - ・ 展望箇所の設置箇所の検討、地域の観光資源としての活用・管理方法の協議 等

# (参考) 具体的な取組施策 (素案) の内容

## 【参考】他地域における取組事例

### ③水源地域内の案内標識・案内サインの点検・見直し

#### ■東海道統一案内看板の取組 (滋賀県 大津市・草津市)

- 東海道沿岸の連続性のある景観形成を目指し、大津市と草津市は共同で「東海道統一案内看板」を作成した。看板に使うロゴマークは、成安造形大学の教授や学生にデザインを依頼、看板作りにあたっては、歴史景観の専門家、商工観光・建築看板の関係者、地域の市民団体そして行政で構成する「東海道統一案内看板専門部会」を立ち上げる等、多くの関係者を巻き込むことで取組の浸透を図った。
- 看板の製作・設置における課題(費用や方法)を検討するため、まずはモデル看板を両市の東海道沿いに1点ずつ設置し、普及に向けた製作方法やデザインの汎用性、設置後の維持管理や周辺景観との調和を検討。
- 「東海道統一案内看板専門部会」は、統一性のある看板の普及啓発を目指し、看板設置のルール等を定め、「東海道統一案内看板設置の手引き」としてとりまとめた。この手引き書を活用し、両市内はもとより周辺地域へも積極的に看板設置を呼びかけている。  
⇒東海道統一案内看板は周辺地域へも広まりを見せており、加賀市の水口宿には、成安造形大学の教授がデザインした水口宿のロゴマークを掲載した看板と、東海道統一案内看板が設置されている。また、東海道沿いのからくり時計の四面に水口宿のロゴマークと東海道統一案内看板ロゴマークが掲載される等、看板以外にもロゴマークが展開され、連続性のある景観形成が進められている。



▲東海道統一案内看板ロゴマーク



▲モデル看板 (草津市)



▲からくり時計 (水口宿)

## 視点2 : 受入環境の充実を図る取組施策

### (6) ダムの魅力を伝える展示室の整備・活用

#### ① ダムの魅力を伝える「展示室」の整備を検討

- \* 展望箇所を設置と合わせて、展示室の整備を検討 (新丸山ダム管理所の活用)
- \* 継続的な運営を実現する、地域における活用・管理方法等を検討
- \* ダムだけでなく、2市2町の魅力や観光情報等を発信する地域の情報拠点としての機能を検討

#### ② 旧八百津発電所資料館の再オープン・活用

- \* 閉鎖中の旧八百津発電所資料館の活用可能性を八百津町と継続協議

連携  
内容

・展示室の機能、将来的な活用可能性、管理方法等の検討・協議 等



# (参考) 具体的な取組施策 (素案) の内容

## 【参考】他地域における取組事例

### ① ダムの魅力を伝える「展示室」の整備を検討

#### ■ (宮城県 わくや万葉の里天平ろまん館)

- わくや万葉の里 天平ろまん館は、国史跡「黄金山産金遺跡」を紹介するガイダンス施設で、史跡ゾーン・天平ろまん館・遺跡広場から構成されている。
- 史跡ゾーンには、音声案内設備が設けられており、来訪者は史跡に関する解説を自由に聞くことができる。
- 天平ろまん館は、史跡や地域の歴史に関する展示室の他、砂金採り体験を楽しむことができる体験施設、地場産品や土産物の販売所とレストランが併設されており、来訪者は様々なコンテンツを楽しむことができる。  
⇒ 砂金採り大会などのイベントが開催されることもあり、地域の交流の場としても活用されている
- 天平ろまん館から史跡ゾーンへ続く道は、遺跡広場として整備され、敷地内の案内パネルや史跡の解説パネルが設置されており、史跡を核とした一帯が複合的に活用されている。

出典：わくや万葉の里天平ろまん館HP



▲わくや万葉の里天平ろまん館 敷地案内図



## 視点2 : 受入環境の充実を図る取組施策

### (7) 学びの場としての機能の強化

#### ① ダムの機能やダム湖等の自然環境を活用した教育プログラムの構築

\* 教育関係者等との連携による、「学び」のあるプログラムの構築

(エコツーリズム、教育機関の総合学習・体験学習、大人向けの教育旅行・生涯学習など)

#### ② ガイドの育成・確保

\* 国土交通省職員 (土木技術者) によるダムの特徴や魅力、ツールの活用方法等を解説する講座を開催し、ガイドレベル向上、人材の確保・育成を図る

\* 水源地域内の観光関連人材の積極的な登用による休日を含めた受入体制の構築

連携  
内容

・ ダム完成後の将来的な活用を視野に入れたプログラム (エコ、教育等) の検討

・ 休日の受入対応を含む、人材の育成・確保に向けた方策検討 等

# (参考) 具体的な取組施策 (素案) の内容

## 【参考】他地域における取組事例

### ① ダムの機能やダム湖等の自然環境を活用した教育プログラムの構築

#### ■ 夏休み親子教室の開催 (一般社団法人 中部地域づくり協会)

- 小中学生とその保護者を対象として、ダムの仕組みや役割等を学ぶ「親子教室」を夏休み期間中に開催。ダムと地域内の学習施設を合わせたコースを提供。参加費は無料(要事前申込み)。  
⇒ 平成30年度は小里川ダムと岐阜県先端科学体験センターを訪問するコース
- 小里川ダムでは、職員からダムの仕組みや管理について説明を受けながら、ダム内部や操作室等を見学。岐阜県先端科学体験センターでは、科学実験や工作を体験。  
⇒ 夏休みの自由研究に活用できると好評

出典：一般社団法人中部地域づくり協会HP



▲小里川ダム見学の様子

#### ■ 夏休み親子ダム環境体験学習会の開催 (沖縄県総合事務局 北部ダム統合管理事務所)

- 小学生とその保護者を対象に、ダム見学を中心とした環境体験学習会を開催。
- 環境体験学習会の主な内容は、漢那ダム施設の見学(堤体内見学、マングローブ散策)と、羽地ダム下流での生物観察会である。参加費は無料(要事前申込み)。
- 参加者は網や透明容器を持参し、ダム川に生息する生物を捕獲。観察後は生物をダム湖に還す。

出典：内閣府沖縄総合事務局北部ダムWebサイト



▲募集チラシ

## 視点2 : 受入環境の充実を図る取組施策

### (8) 安全性の確保

#### ① 安全性の高いダム見学コースの検討

\* 工事中および完成後のダム見学コース設定にあたり、見学者およびガイド等の安全性を確保した見学箇所、内容の検討を実施

#### ② 安全性の高い、観光活用の検討

\* 湖岸道路、ダム湖や周辺の散策コース、アクティビティ等の湖面活用にあたり、活用ルールを策定するとともに、安全対策の充実を図る

## 視点3 : 持続的な地域振興を実現する取組施策

### (9) 水源地域の連携による地域振興の取組推進

#### ①水源地域の自治体、観光協会、観光関連事業者、地域団体等との連携強化

- \*ダムを活用した2市2町の地域振興の実現に向け、協議・情報共有の場を継続開催
- \*工事各段階、完成後の活用に向けた検討、プロモーションを連携して展開

#### ②地域と連携したイベントの開催

- \*スタンプラリー等の水源地域への誘客、地域内の周遊促進につながるイベントを継続開催

#### ③地域の主体的な取組との協働

- \*地域の既存の祭りやイベント等との連携を促進
- \*ダムおよびダム湖を活用した、地域主体の新たなイベント等の開催に向けた検討を実施  
例) 星空観賞、プロジェクションマッピング、映画鑑賞会、ダムキャンプ 等

- |          |  |
|----------|--|
| 連携<br>内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>・水源地域の連携強化に向けた「協議・情報共有の場」や「イベント」等への継続的な参画</li><li>・ダムを活用した新たな取組の創出、連携した取組の推進 等</li></ul> |
|----------|--|

# (参考) 具体的な取組施策 (素案) の内容

## 【取組イメージ】

### ②地域と連携したイベントの開催

- 新丸山ダム工事事務所では、ダムの知名度向上と地域振興につながる取組として、過去4回スタンプラリーを実施した。

#### 〈新丸山ダムスタンプラリーの概要〉

	開催期間	参加地域	参加店舗数	記念品	記念品配布数
第1回	(H30) 3/23~4/23	八百津町	23店舗	・初回発破石 (お守り)	123個
第2回	(H31) 9/14~10/5	八百津町、御嵩町	33店舗	・ダム軸通過石 (お守り)	129個
第3回	(H31) 2/8~3/8	八百津町、御嵩町	57店舗	・貫通石 (お守り)	225個
第4回	(R1) 9/20~9/30	八百津町、御嵩町	58店舗	・見守りコンクリート ・水圧鉄管のかけら、 ・丸山ダムレトロカード	300個

第4回は好評につき、予定では約1カ月の開催が、わずか10日で終了。県内外から多くの参加者があった。

#### ▼新丸山ダム 第4回スタンプラリーのお知らせ (一部抜粋)



#### 〈実施方法〉

- 八百津町と御嵩町の対象店舗3カ所でスタンプを集める (1店舗500円以上でスタンプ1個 ※1店舗1個限り)
- スタンプを集めたら、新丸山ダム工事事務所で記念品と交換



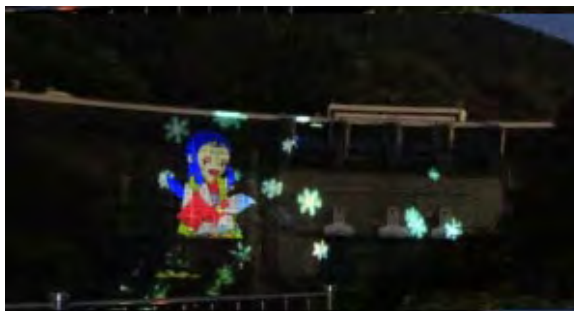
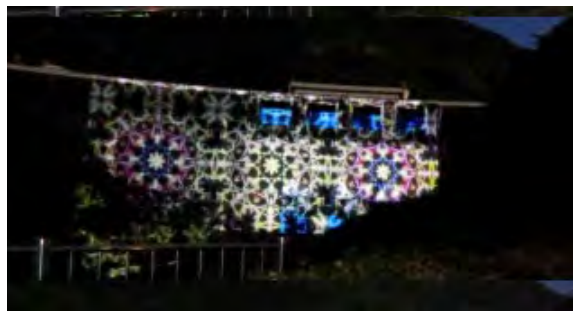
# (参考) 具体的な取組施策 (素案) の内容

## 【参考】他地域における取組事例

### ③地域の主体的な取組との協働

#### ■ダム堤体でのプロジェクションマッピングの実施 (京都府 天ヶ瀬ダム)

- 天ヶ瀬ダムでレーザー光線ショーをやりたいという近畿地方整備局の若手職員のアイデアをもとに、堤体をスクリーンとして利用したプロジェクションマッピングを企画。京都精華大学等の協力を得て映像を作成し、2日間限定のイベントとしてプロジェクションマッピングを実施。
- 実施にあたり、「天ヶ瀬ダム観光資源化社会実験」として1日700名のモニターを募集。モニターには、アンケートを実施し、イベントの満足度を調査。
  - ⇒ イベントへの反響は大きく、モニターは申込期日半ばで定員に達した
  - ⇒ 2日間で約1,200人が訪れる大規模なイベントとなったが、事前応募のあったモニターのみが観覧できるという制限を設けたことで、大きな混乱は回避することができた



▲プロジェクションマッピングの様子

出典：天ヶ瀬ダム観光資源社会実験プロジェクションマッピング社会実験開催レポート

## 視点3 : 持続的な地域振興を実現する取組施策

### (10) インバウンド対応の強化

#### ① インバウンドの受入環境整備

- \* 多言語対応のコミュニケーションツール、情報媒体の作成および活用 (海外への情報発信)
- \* 案内サインの多言語化、Wi-Fi環境やキャッシュレスサービスの拡充 など

#### ② 多言語対応人材の育成・確保 (水源地域内の案内機能の強化)

- \* 案内所等の情報基盤への多言語対応人材の配置等による、地域内の案内機能の強化を推進

連携  
内容

- ・ 「受入環境の充実を図る取組」と合わせた、長期的な取組の推進

# (参考) 具体的な取組施策 (素案) の内容

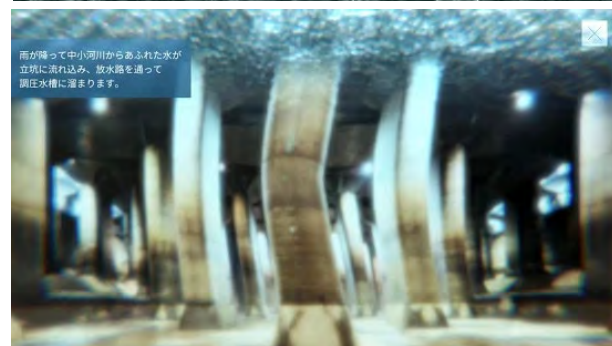
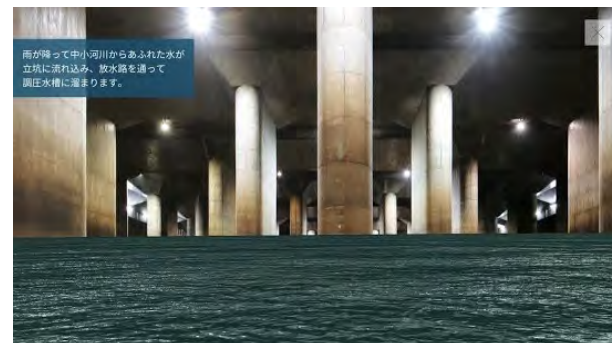
## 【参考】他地域における取組事例

### ① インバウンドの受入環境整備

#### ■ 多言語音声アプリ・ARアプリの開発 (埼玉県 首都圏外郭放水路)

- 首都圏外郭放水路の機能や役割、見所を解説するスマートフォンアプリを開発。日本語、英語、中国語 (繁体字・簡体字) に対応しており、音声案内機能も付加。
  - ⇒ 多言語化により、インフラ施設特有の難解な専門用語を用いた施設解説に対する外国人観光客の理解促進が期待
  - ⇒ 見学会の参加前後の予習・復習への活用が期待
- 同アプリにはAR (拡張現実) 機能が搭載されており、調整水槽内 (見学会で訪問可) で起動することで、洪水時に水が調整水槽に流れ込む様子をARを通して体感することができる。
  - ⇒ 視覚情報により来訪者の理解促進が期待 (特に外国人観光客や子供の理解促進に大きく貢献することが期待できる)
- インバウンド対策として、施設内でダウンロードが可能となるよう無料 Wi-Fi のアクセスポイントを整備。
- 民間運営による社会実験見学会 (2018年8月) の開始に併せ、2018年7月実施のマスコミ向け取材会で初披露。多くのマスコミに取り上げられ、メディアを通じた積極的な広報を展開。

出典：土木広報大賞HP



▲首都圏外郭放水路ARアプリ  
イメージ画面

## 視点3 : 持続的な地域振興を実現する取組施策

### (11) 継続的な管理運営体制の構築

- \*見学ツアーを含めたダムツーリズムの継続的な推進の基盤となる管理運営手法を検討
- \*水源地域との連携による休日および団体客の対応が可能な管理運営体制を構築

#### 【運営方法の一例】

- 指定管理による管理委託：展望箇所や展示室等の管理を委託し、ガイドツアー等を運営
- 民間との協定による管理委託：ガイドツアーの運営を委託し、ツアー収益等をもとに運営

連携  
内容

- 経済性を有し、持続可能なダムツーリズム、ダムを活用した地域振興の実現に向けた体制づくり、地域連携の方策検討 等